

授業科目名・形態	精神看護学概論	講義	必修・選択の別	必修	単位数	1
科目担当者氏名	畠山 禮子		実務経験の有無	有	開講期	1年後期

【授業の主題】

こころの健康問題は深刻であり、精神保健に関連する課題がますます増加している。本講義では、主に人間のライフサイクルにおけるこころの健康問題について学ぶ。さらに、リエゾン精神看護の活動や精神保健と法律について学ぶ。

【到達目標】

1. 人間のライフサイクルにおけるこころの健康問題について理解する。
2. リエゾン精神看護の活動や精神保健と法律について理解する。

【授業計画・内容】

第1回 精神看護とはどんな活動か

第2回 精神医療の歴史の変遷、精神看護における基本的人権と倫理的問題

第3回 ライフサイクルと精神保健①

第4回 ライフサイクルと精神保健②

第5回 事例から学ぶリエゾン精神看護

第6回 精神保健と法律

第7回 精神保健福祉の現状と課題、精神の健康に関する普及啓発活動

第8回 まとめ

【授業実施方法】

講義

【授業準備】

講義内容を踏まえて予習を中心に行う。

【主な関連する科目】

「病態治療学Ⅲ（精神疾患）」

【教科書等】

萱間真美 野田文隆 「精神看護学Ⅰ 精神保健・多職種のつながり こころ・からだ・かかわりのプラクティス」
改訂第2版 南江堂 2015.

【参考文献】

適宜紹介

【成績評価方法】

授業参加態度（10%）、後期定期試験（90%）により総合的に評価する。

【実務経験及び実務を活かした授業内容】

総合病院で看護職として患者や家族への対応等について経験。

実務経験から得た看護師としての技術や知識、チーム医療の重要性などについて授業に活かしていきたい。

【学生へのメッセージ】

こころの健康問題等について関心をもち、一緒に学んでいきましょう。